



第2条中 参字削除 (注1)

工事請負変更契約書

収入印紙

貼 付

1 工事の番号・名称 第〇〇-41330-〇〇〇〇号
〇〇〇〇〇〇工事 (〇〇〇〇)

(注2)

2 工事の場所 〇〇市〇〇町〇〇地内 (県道〇〇線)

令和〇〇年〇〇月〇〇日 (注3) 発注者 福島県 と受注者 〇〇株式会社 との間で締結した上記工事の契約内容を下記のとおり変更する。

記

第1条 発注者の指示した設計図書を別冊のとおり変更する。

第2条 工事請負代金の額 金 〇, 〇〇〇, 〇〇〇 円を新たに増~~(減)~~額する。 (注4)
(うち取引に係る消費税額及び地方消費税の額 金 〇〇, 〇〇〇 円也)

第3条 工事の完成期日、令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日を令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日とする。

第4条 契約保証金「免除」を金 〇〇〇, 〇〇〇 円とする。

第5条 その他は原工事請負契約書のとおりとする。

上記契約の証として、本書2通を作成し、当事者記名押印の上、それぞれ1通を保有する。

令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

発注者 氏 名 福島県
福島県県南建設事務所長 〇〇 〇〇 印

受注者 住 所 福島市杉妻町〇-〇〇
氏 名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇



(注1) 文字、項、条の加入、訂正、削除する場合には、契約書余白に当該内容を明記するとともに、訂正印（契約権者印）を押印してください。

(注2) 変更となる工事請負代金の額から取引に係る消費税額及び地方消費税の額を除いた額が印紙税の記載金額（課税文書に記載された契約金額）となります。なお、減額又は工事請負代金の額に変更の生じない変更（工期延長等）の場合には、契約金額の記載のないものとして扱います。

(注3) 第2回目以降の変更の場合でも、当初の契約締結日を記入してください。

(注4) 文字、項、条の訂正、削除する箇所は、2線で見え消ししてください。